

地域密着型金融推進計画（令和4年度）

当金庫では「地域密着型金融推進計画」として、中小企業者や個人のお客さまの事業にかかる課題解決、コロナの影響を受けたお客さま、特に影響度合いの大きいお客さまに対しては、今まで以上に伴走型の本業支援を行ってまいります。また、地方公共団体等との連携を図るとともに、地域の皆さまへ積極的な情報発信を行い、皆さまからご意見を収集し施策へ反映させるなど地域経済活性化のために全役職員で取組んでまいります。

これらを実践していくために、本部と営業店が一体となり情報の共有を図るとともに、お客さまからの経営相談への対応や経営支援等を適切に実施していくため、役職員のレベルアップに向けた研修会等を充実させています。そのうえでお客さまの声を可能な限り反映し、利便性等の向上に取組み、間柄重視の地域密着型金融の一層の推進を図ってまいります。また、計画の多くはSDGsに資するものであり、「SDGs宣言」に基づき推進してまいります。なお、計画の詳細につきましては、下記の計画内容等をご確認ください。

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<p>1.事業者であるお客さまに対するコンサルティング機能の発揮として、ライフステージ別に取り組む。</p> <p>(1) 創業・新事業開拓を目指す顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信金中金、群馬県産業支援機構の活用及び日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、群馬県行政書士会等との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援の強化やベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化による顧客基盤の拡充を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の当金庫プロパーによる創業者支援資金の実績は3件35百万円です。 ・次代を担う起業家や起業家精神を持った人材を発掘し、県内のイノベーション機運を高めようというプロジェクト「群馬イノベーションアワード2022」に協賛しています。 ・創業にチャレンジする方や創業間もない事業者に対して、当金庫と群馬県よろず支援拠点が共催する「よろず出張相談会」を案内し、コーディネーターによる補助金等の情報提供を行っています。 ・潜在的な創業ニーズの掘り起こしや創業希望者と各地の信用金庫を円滑に繋ぐことができる創業支援プラットフォーム「しんきん創業の扉」が、当金 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・制度融資の活用 ・創業者向けの商品活用 ・発明協会との連携強化 <p>(2) 成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチングの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度融資を積極的に活用していく。 ・日本政策金融公庫との協調による創業支援融資「きたしん創業サポート資金」を活用していく。 ・地域の発明協会等との連携を強化する。 ・しんきん会等を介したビジネスマッチングを積極的に進め、群馬県等が主催する各種フェア等への参加や城南信用金庫主体のWEBサイト「よい仕事おこしネットワーク」等でお客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 	<p>庫のホームページから利用することが可能となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の実績は12件111百万円です。 ・日本政策金融公庫との連携による創業支援体制を整えています。創業資金のうち協調による融資の令和4年度実績は2件19百万円です。 ・渋川市発明協会主催の渋川広域圏発明くふう展に協賛し10月7日の表彰式において、「北群馬信用金庫理事長賞」の授与を行いました。 ・信金中金のビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」に83先の取引先をエントリーし、サプライヤー及びバイヤーとして販路・仕入ルートを拡大するための支援を行っています。 ・城南信用金庫のビジネスマッチングフェア「よい仕事おこし」に協賛しており、その中の興こし酒プロジェクト（日本酒「絆舞」に使用のお米の提供）に1先の取引先がエントリーしました。 ・群馬県が主催する「群馬ものづくりフェア2022」に協賛し、2先の取引先が参加しています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・異業種交流の研修会への積極的参加 ・海外進出など新たな事業展開に向けての情報の提供等 ・外部機関・外部専門家との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中金優待カタログへの掲載希望を募り、お客様の商品を案内していく。 ・しんきん地域ネット等を活用し、本業支援等に資するビジネスマッチングを支援する。 ・しんきん会会員を含め異業種交流研修会の参加への企画立案を積極的に図っていく。 ・信金中金との連携を強化して海外での事業展開や海外への販路拡大についての情報の提供等を行っていく。 ・引き続き群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等によりきめ細かにお客さまへのバックアップを行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の取引先同士等によるビジネスマッチング支援を行い、取引先 9 先の商品に対して取引先 4 先との商談が成立しました。 ・信金中金優待カタログへの掲載希望を募り、4 社 17 商品をエントリーし、1 社 1 商品が掲載されることが決まりました。 ・取引先向けの首都圏等のバイヤーと商談を代行するしんきん地域ネットの「営業代行サービス」に 8 先が申込み、販路拡大支援を行いました。 ・ウィズコロナとなってきたことから、しんきん会等の活動も再開されつつあり、会員間の交流を深める機会が増えてきました。 ・信金中金と連携することにより海外進出支援の態勢は整っています。 ・群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等を行っています。また、当金庫では、13 名のサポーターを中心に事業先の課題解決のための要望等を把握するため、モニタリングを実施しています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県よろず支援拠点、群馬県中小企業活性化協議会、群馬県事業承継・引継ぎ支援センター及び群馬県行政書士会等と連携し、企業のライフステージにあった情報や支援を行っていく。 ・群馬県信用保証協会との相互協力に関する覚書に基づき、地域経済の活性化を図るための各種支援、人材育成を目的とした人材交流、相互協力を実効的なものとするための情報交換を行っていく。 ・総合人材サービスを提供するパーソルホールディングス(株)や群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携により、人材紹介支援を行っていく。 ・農業分野について外部機関との連携を図り、その知見を活用しつつ、より適切なアドバイスができる態勢としていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当金庫と群馬県よろず支援拠点が共催する「よろず出張相談会」を毎月1回実施しており、45先の課題解決支援を行いました。また、当金庫職員が同行し、同拠点に直接出向き1先の課題解決支援を行いました。 ・当金庫と群馬県事業承継・引継ぎ支援センターが共催する「事業承継・引継ぎ出張相談会」を年3回開催し、8先の事業承継支援を行いました。 ・令和4年7月5日に若手職員を対象とした融資審査強化研修に保証協会職員を招き、人材交流及び融資の基礎知識や信用保証の基本を学びました。また、令和5年1月25日にコロナや原材料高の影響について資金繰り支援等の情報交換をしました。 ・人材確保を経営課題としている事業者4先に対し、群馬県プロフェッショナル人材拠点を紹介しました。 ・パーソルホールディングス(株)との提携により、人材採用支援の体制を整えています。 ・群馬県農業信用基金協会による保証及び日本政策金融公庫の信用補完を受けたアグリローンにより農業者向け融資を取扱っています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<p>・ 中小企業支援に関する情報の提供等</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者及び経営改善が必要な顧客企業等</p> <p>・ 本業支援及び経営改善が必要な企業に対する取組の強化</p>	<p>・ 信金中金、全国の信用金庫の中小企業支援に関する情報等を共有するためのウェブページ「しんきん知識の泉」の情報を活用し、的確な支援活動に繋げるべくお客さまへ情報提供を行っていく。</p> <p>・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の業況を把握し、継続したモニタリングやフォローアップを行いながら、営業店と本部（地域サポート部・融資部）が一体となり</p>	<p>令和4年度実績</p> <p>農業信用保証付 5件 30百万円</p> <p>アグリローン 1件 6百万円</p> <p>・ 信金中金の中小企業支援ツールである「しんきん知識の泉」を活用し、中小企業者等の状況に応じて、補助金等の情報及び活用ポイントやビジネスマッチング情報、M&Aに関する情報等を営業店に提供し、お客さまへの情報提供を行っています。</p> <p>・ 経済産業省管轄の補助金に関するセミナーを経済産業省関東経済産業局、群馬県産業支援機構、北関東産官学研究会と連携し11月1日、2月22日に開催しました。延べ66社の取引先企業と共に、渋川市、渋川商工会議所の職員も参加されました。</p> <p>・ インボイス制度導入、電子帳簿保存法改正対応セミナーを群馬県よろず支援拠点と連携し11月24日、12月14日に開催しました。延べ74社の取引先企業が参加されました。</p> <p>・ 新型コロナウイルス関連融資利用先に対して、原則半期に1度、融資実行後の業況等の把握及び本業支援を目的に継続的にモニタリングを行ってい</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<p>・アパートローン及び太陽光関連の大口融資先等への期中管理、支援の強化</p> <p>(4) 事業再生や業種転換が必要な顧客</p>	<p>伴走型の本業支援を行う。</p> <p>・経営目標の実現や経営課題の解決に向け、経営者が主体的に取り組むための支援として、本部・営業店が連携して経営改善計画書の策定・再策定支援を地道かつ積極的に取り組む。</p> <p>・群馬県中小企業活性化協議会、群馬県中小企業診断士協会、群馬県行政書士会等の外部機関と連携を強化する。また、関係する金融機関とも連携を図り、経営支援を行う。</p> <p>・アパートローン及び太陽光関連の大口融資先に対しては、管理表に基づき期中管理、支援を強化していく。また、その情報については、面談シート等を活用し、融資部と地域サポート部・リスク管理委員会で情報を共有する。</p>	<p>ます。</p> <p>・本部専担者と営業店職員による同行訪問を実施し、109先に本業支援を行いました。</p> <p>・経営改善が必要な顧客企業に対しては、顧客企業の経営目標の実現や経営課題の解決のための支援として、本部・営業店の連携や群馬県中小企業活性化協議会等の外部機関も活用し、経営改善計画書の策定・再策定支援に積極的に取り組んでいます。</p> <p>・群馬県中小企業活性化協議会が関与する経営改善計画策定支援事業（通称405事業）を6先受付し、群馬県診断士協会及び中小企業診断士を紹介しました。その他、経営改善計画策定支援として、中小企業診断士の紹介及び策定のアドバイスを4先に行いました。</p> <p>・融資先と面談を行い、また、融資物件の状態を確認することで収入の増減や修繕費等の必要時期をモニタリングし、事業者が、抱えている問題を面談シート等の活用により把握しています。また、収集した情報は、融資部と地域サポート部・リスク管理委員会で情報共有しています。</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業再生の早期着手に向けた取組の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、中小企業の事業再生等に関するガイドラインに即して、経営再建計画の策定支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 当金庫で経営改善計画書の策定支援を行うほか、群馬県中小企業活性化協議会及び群馬県中小企業診断士協会等の外部機関と連携を図り、事業再生のための支援を行っています。 中小企業等の事業再構築に活用する「事業再構築補助金」の申請支援を23先に行い、15先採択となりました。また、第9回「事業再構築補助金」については3件の申請支援を行いました。 	
<p>(5) 事業の持続可能性が見込まれない顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の持続可能性の見極め 	<ul style="list-style-type: none"> 貸付の条件変更等を行うほか、群馬県中小企業活性化協議会等連携先を活用する。 事業に向けた経営者の意欲、事業環境等を見極めて事業の持続可能性を慎重かつ十分に検討する。なお、その場合経営者の生活再建及び取引先への影響をも考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 抜本的な事業再生により経営改善が見込まれる顧客企業には、群馬県中小企業活性化協議会等と連携して取り組んでいます。 事業内容や事業環境及び事業計画に向けた経営者の意欲等により持続可能性を見極め、また、廃業に至った場合の経営者の生活再建や取引先等への影響などを考慮し、慎重かつ十分な検討を行っています。 	
<p>(6) 事業承継が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業承継を企業の第6のライフステージとして位置付けた取組み 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる事業承継のニーズに対応したサービスを行うため群馬県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携により、事業承 	<ul style="list-style-type: none"> 後継者の有無や円滑な事業承継が行えるように、訪問時に経営者等から確認しています。また、地 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業譲渡・譲受の積極的な相談業への取り組み <p>(7) 事業性評価の適切な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価の適切な取組みと企業ライフステージの見極めによる支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルベンチマーク及び業績推移表を活用し課題解決に向けた融資を行う。 	<p>継ニーズのあるお客さまを紹介するなど、積極的に取組んでいく。また、引き続き(株)朝日信託との連携を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県よろず支援拠点や群馬県事業承継・引継ぎ支援センター、しんきんキャピタル(株)等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継やM&A等の支援を行っていく。 ・事業の強み・弱みを把握し、持続可能性や成長可能性を適切に評価し、企業のライフステージに合致した支援を行う。 ・「きたしんビジネスサポート」により課題を把握し、ローカルベンチマーク及び業績推移表を活用し、事業性評価に基づき課題解決に絡む融資を行っていく。 	<p>場産業の維持や活性化を目指すため、群馬県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して、事業承継支援やM&Aなどの案件に対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業基盤整備機構関東本部と連携し、取引先の事業承継の実態把握を目的として令和5年2月に118先を対象としてアンケート調査を実施しました。内113件の回答が得られました(回答率95.8%)。 ・群馬県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して、事業承継・引継ぎ出張相談会を吾妻支店及び渋川南支店にて開催し、8先の事業承継支援を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業況が改善されていない事業先が多く見られているため、新型コロナウイルス感染症関連融資の利用先1,010先に対して、原則半期に1度、融資実行後の業況等の把握及び本業支援を目的に継続的にモニタリングを行いました。 ・経済産業省が活用を推奨している「企業の健康診断」ツールであるローカルベンチマークを21先作成し、課題解決に向けた取組みを行っています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<p>(8) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュフローを重視した融資 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金使途と返済財源の関係を踏まえた融資を行う。なお、原則として運転資金は短期融資で対応していく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている先について、全力で支援していく。また、条件変更についても柔軟に対応していく。 ・担保・保証に過度に依存しない、キャッシュフローを重視した融資を推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 事業性評価に基づく融資実績 先数 20 先 金額 525 百万円 ・資金使途と返済財源の関係を踏まえ、お客さまニーズに基づいた融資を行っています。運転資金に占める短期資金の割合は 13.75%です。(短期継続保証のGリピート保証及びGリピートプラス保証の証書貸付を含む) ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている先に対して、資金繰り支援等に対応しています。また、条件変更も積極的に対応しました。 ・令和4年度 新型コロナ関連融資実績 133 件 1,489 百万円 ・令和4年度 新型コロナ関連条件変更実績 130 件 2,553 百万円 ・事業を適切に評価することで、過度に担保・保証に依存せず、キャッシュフローを重視した審査を行いました。また、ABLによる融資も行いました。 ・令和4年度ABL実績 動産譲渡担保融資 19 件 604 百万円 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> 各種制度融資の積極的活用 「経営者保証に関するガイドライン」に則った融資慣行の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 県制度資金の小規模企業事業資金、群馬県経営サポート資金を積極的に活用していく。 市町村小口資金を積極的に活用していく。 チェックリストを活用し、保証の必要性の有無を判断するとともに、担保・保証に過度に依存しない融資を行う。また、お客さまへ十分説明する。 事業承継時は、経営者保証が事業承継の阻害要因とならないようチェックリストに基づき対応する。 主債務者及び保証人から債務整理の申出を受けた場合は、廃業時における「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、 	<p>債権譲渡担保融資 19件 604百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度実績 小規模企業事業資金 33件 109百万円 群馬県経営サポート資金 73件 693百万円 令和4年度実績 市町村小口資金 35件 177百万円 事業資金の申込については「経営者保証等の必要性に関するチェックリスト」を活用し、お客さまに説明した上で、経営者保証の要否を判断しました。 なお、令和4年度の新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は39.68%（件数ベース）でした。 経営者保証ガイドラインにおける事業承継時に焦点を当てた特則に基づいたチェックリストを用いて適切に対応しました。 令和4年度の代表者交替は29件ありましたが、経営者保証の二重徴求はありませんでした。 廃業時における「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、真摯に対応しています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<p>(9) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み</p> <p>・人材育成</p>	<p>真摯に対応する。</p> <p>・事業性評価を適切に行っていくための業界団体研修への参加と研修受講者による金庫内研修の実施。</p> <p>・通信講座の受講、検定試験合格による資格取得を積極的に推進する。特にファイナンシャルプランナーなどの資格取得により相談業務の充実を図る。</p> <p>・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を計画的に実施していく。</p> <p>・企業経営者等との対話力、折衝力強化のため年間10回(4月、10月は除く)の自主勉強会の実施(現場力の強化、職員のレベルアップ)。</p> <p>・渉外担当者研修をスキル別(若手渉外担当者対象)に実施す</p>	<p>・群馬県信用金庫協会主催の事業承継・創業支援講座に2名が参加しました。また、自主勉強会において、令和4年11月26日に研修受講者を講師として「相談される金融マンについて」をテーマに実施し、34名の職員が参加しました。</p> <p>・ファイナンシャルプランナー2級取得者 48名 医療経営士取得者 1名 相続診断士取得者 1名 通信講座受講者 46名</p> <p>・当金庫の一般事業主行動計画に基づき実施しています。</p> <p>・令和4年度は、お客さまとの対話力、折衝力強化を図るため、10回の自主勉強会を実施予定でしたが、コロナ禍の影響もあり、8回の開催となりました。</p> <p>・渉外担当者のレベルアップを目的とした、スキル</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
	<p>ることで研修の実効性を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB会議システム等利用し、よりタイムリーな研修を実施することで人材育成を図っていく。 	<p>別研修を10月18日から27日まで、対面及びWEBにて実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修をWEB会議システム等で実施し、よりタイムリーな研修を実施しています。 ・「事業再構築補助金」の活用に係るWEB研修を4月6日に実施し、43名の職員が参加しました。 ・「中小企業の事業再生等に関するガイドライン」及び「廃業時における経営者保証に関するガイドライン」等のWEB研修を5月24日に実施し、53名の職員が参加しました。 ・販路拡大支援策のビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」及びDX支援策のホームページ作成サービス「ジンドゥー」等のWEB研修を8月24日に実施し、42名の職員が参加しました。 ・経済産業省管轄の補助金に関するセミナーを11月1日、2月22日に開催し、取引先企業と共に延べ30名の職員が参加しました。 ・インボイス制度導入、電子帳簿保存法改正対応セミナーを11月24日、12月14日に開催し、取引先企業と共に延べ29名の職員が参加しました。 ・「事業再構築補助金」に関する研修（Web研修）を1月17日に開催し39名の職員が参加しました。 ・事業承継支援研修を2月3日に開催し40名の職員が参加しました。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<p>2.地域の面的再生への積極的な参画</p> <p>(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係わる金融支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体が策定した「地方版総合戦略」の推進に対し、当金庫が保有する機能を発揮し積極的に参画していく。 ・渋川市が地方創生の一環として行っている、ふるさと納税をされた方への返礼品の1つであるふるさと感謝券の換金事務を行う。 ・地方公共団体への融資については、地域貢献を念頭に置き、金額、期間等を勘案し積極的に対応する。 ・地元大学等との産学連携を推進することで、地域企業や地域の課題解決を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・渋川市との「連携協力の包括協定」に基づき、地域再生計画の「渋川まち・ひと・しごと創生推進計画」の課題を解決する事業となる「移住定住促進関連事業」に対し、信金中央金庫の地域創生推進スキーム「SCB ふるさと応援団」（企業版ふるさと納税10百万円の寄付）から寄附を受けており、今年度から3年間連携して取り組むこととなりました。 ・本店営業部、同中央出張所、伊香保支店、子持支店、渋川南支店の計5店舗にて「ふるさと感謝券」を行いました。また、本店営業部で「しぶかわ暮らし応援クーポン」の換金事務も行いました。 ・地方公共団体の起債入札に積極的に参加しました。他行との金利競争もあり、令和4年度は8件58百万円の融資実行となりました。 ・群馬大学と「産学連携に関する協定」を締結しており、研究成果などのシーズと地域企業の技術ニーズのマッチング等の支援が可能ですが、今年度 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
	<p>・渋川市との包括連携協定及び信金中金「SCBふるさと応援団」の寄付金を活用し、渋川市の移住定住促進関連事業を信用金庫のネットワーク等により、協働して積極的に取り組む。</p>	<p>も新型コロナウイルス感染症の影響から、意見交換会等が中止となっています。</p> <p>・高崎商科大学と新たに連携した食品加工業者に対するマーケティング、販路開拓等の支援を開始しました。</p> <p>・令和4年度（初年度）の事業実施内容は以下のとおりです。なお、「渋川市移住定住促進関連事業」に係る渋川市との意見交換会が9月6日、1月26日に開催されました。</p> <p>①市内過疎地域に所在する利活用可能な空家の調査、滞在施設としての改修仕様の確定</p> <p>②当該施設の片付け等、信用金庫との連携による関係人口創出に係るセミナーの開催</p> <p>③信用金庫と連携し、移住関連情報のデジタルメディア（リスティングや動画広告等）を使用した広報活動を実施</p> <p>④若者定住支援推進（移住定住新生活応援事業）</p> <p>・進捗状況は以下の通りです。</p> <p>①空家物件の募集（募集期間 4/15～6/30）を市民向けの広報紙、渋川市及び当金庫のホームページにより物件の公募を行い、4件（伊香保地域2軒、赤城地域1軒、小野上地域1軒）の応募を受け、協議の結果、伊香保地域の物件に決定し、令和5年度に改修工事が実施される予</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題への対応として、太陽光発電などの自然エネルギーを利用した発電設備資金の導入支援を行う。 ・持続可能な社会の実現に向け、SDGs 私募債を提案していく。 	<p>定です。</p> <p>②情報発信の施策として、首都圏のJR18 駅（東京・新宿等）にて移住定住を促す広告を放映するデジタルサイネージの広告代理店と業務委託契約を締結し、令和4年9月19日～9月25日に放映されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度太陽光関連融資の実行 29件 837百万円 ・令和5年3月末時点での太陽光関連融資とバイオマス発電融資の総実行件数及び金額 751件 21,681百万円 <p>太陽光関連融資により年間約19,000世帯の電力消費量を賄うことができます。これは渋川市全世帯の半分強の世帯にあたります。</p> <p>（環境省の一世帯あたりの年間電気消費量を参考にしています。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度よりSDGs 私募債の取扱いを開始しました。令和4年度実績は2件100百万円でした。 ・紙の消費量を抑えるため、一層のペーパーレス化に取り組んでいます。 ・消費電力を抑えるため、全店でLED化を進めました。 ・効率の良い営業活動に努め、車両の走行距離を10% 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 4 年 度 実 績	
<p>(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税理士による税務相談 ・ 社会保険労務士による年金相談会 ・ 金庫職員等による金融知識の普及 ・ 交通安全指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋川広域ものづくり協議会との連携を図る。 ・ 毎週木曜日に本店で実施している税理士による無料税務相談を継続して実施していく。なお、定期的にお客様を対象に「税務相談セミナー」を開催していく。 ・ 社会保険労務士による年金相談会を実施（年間 14 回）していく。 ・ 金庫営業地域の小学生を対象にした金融知識の普及のための講話を行っていく。 ・ 登校時間に通学路の横断歩道に立ち、旗による誘導をし、子供たちの交通安全に寄与していく。 	<p>削減する取組みを行いました。その結果、7.26%削減することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋川広域ものづくり協議会の活動等に協賛しています。 ・ 令和4年度に48回開催し、相談内容については、所得税30件（内、譲渡12件）、贈与税21件、相続税17件、法人税5件、他19件、合計92件でした。 ・ 5月より毎月1回（6月、7月は2回）、営業店別では本店営業部で3回、吾妻支店、吉岡支店、渋川南支店で各2回、草津支店、中之条支店、嬭恋支店、前橋支店、沼田支店で各1回の計14回開催しました。なお、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い実施しました。 ・ 地元小学校で金融教育の実施をする計画でしたが学校側との日程調整が折り合わず、令和4年度は実施できませんでした。 ・ 渋川市内4ヶ所にて継続的に実施しており、幸い横断旗誘導付近での交通事故は発生しておらず、 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・町内道路清掃活動への参加 ・地方公共団体等によるイベントや地元の祭典への積極参加 ・営業店の高齢者等対応店舗への改装 ・認知症サポーターによる支援充実 ・がん検診普及のピンクリボン運動の実施 ・地域見守り活動等に関する協定の活動実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日町内一斉に実施される道路清掃活動に積極的に参加する。 ・地方公共団体や中小企業団体等の地域的・広域的なイベントや各営業店所在地の祭典やスポーツ大会、各種行事に積極的に参加していく。 ・高齢者等の利便性向上を図るため、スロープやバリアフリー等の対応を検討していく。 ・役職員が修得した認知症サポーターとしての知識を実践していくことによりお客さま支援及び満足度の向上に継続的に取り組む。 ・がん検診の普及を目的としてピンクリボン運動の実施を継続していく。 ・地域の見守り活動の事業内容を理解し、お客様への訪問時等を利用して積極的に協力していく。 	<p>地域の父兄や小中学校からは感謝されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月15日の春の道路清掃に24名、10月2日の秋の道路清掃に19名が参加し清掃活動を行いました。 ・9月10日に開催された「沼田花火大会」に沼田支店職員がボランティアスタッフとして参加しました。また、11月3日に開催された「ぐんまマラソン」に前橋支店職員がボランティアスタッフとして参加しました。 ・高齢者等の利便性向上を図るため、スロープ等の対応を図っています。 ・全役職員が「認知症サポーター」として活動しています。また、令和4年度の新入職員も「認知症サポーター」となり活動しています。 ・女性職員全員でピンクリボンバッジを制服に着けて、がん検診等の受診率向上に努めています。 ・渋川市、東吾妻町と「地域見守り活動等に関する協定」を締結し、安心安全な地域づくりのサポートを継続的に行っています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		令和4年度実績	
<p>3.お客さまや地域の皆さまへの積極的な情報発信・意見の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み等に関して、地域の皆さまに積極的に情報発信 お客さまのご意見の反映等 	<ul style="list-style-type: none"> 当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて積極的に発信していく。 各営業店での日々の活動から得ることのできるお客さまの要望等を本部、営業店で共通の情報として把握することにより適切でニーズに合った提案を行う。 頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー・きたしんホームページなどを通じて積極的に情報発信を行いました。 窓口や渉外担当者に寄せられる意見や、しんきん会等で寄せられる意見について、本部・営業店で情報を共有しています。 頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていただきます。 	